

令和6年度スマートシティYAIZUプラットフォーム  
地図データ機能(地図API)及び公開型GIS等構築業務委託 評価基準

項目及び配点は以下のとおりとし、選定委員会委員により評価を行い、各委員の評価点合計が最も高い提案者を第一優先交渉権者とする。なお、各委員の評価点合計満点の6割を最低基準点とし、最低基準点に満たない提案は優先交渉権者選定の対象から除外する。

審査項目	分類数	配点
1 参加資格選定基準	2	2
2 企画提案書・プレゼン	10	88
3 価格	1	10
合計	13	100

審査項目	分類	内容、評価の視点	配点	
1 参加資格	認証登録の状況(必須)	必須	ISO/IEC 27001若しくはJISQ27001(情報セキュリティマネジメントシステム)の認証取得	必須
	認証登録の状況(任意)	2	ISO9001(品質マネジメントシステム) ISO14001(環境マネジメントシステム) ISO/IEC27017(クラウドサービスセキュリティ) ISO/IEC27018(個人情報保護)	2
2 企画提案書 プレゼン	① 2.基本事項、3.提案事業者の概要	17	・本業務の内容が理解されているか。 (構築する対象システム、実現したいシステムの方向性)	5
			・提案事業者自身はスタートアップ事業者に該当するか。	12
	② 4.本調達の要件/業務のスケジュール	5	・他事業者との連携(結合試験等)を考慮したスケジュールであるか。	5
	③ 5.業務要件/基本要件	20	・基本要件を網羅したシステムであるか。 (スマートマップ焼津)ベクトルタイトル、CMS機能、ユーザ利用分析、地図API開発、他システム連携(焼津データカタログ)GitHub整備、スマートマップ焼津への連携、データ登録	5
			・利用者にとって使いやすい画面・体験(UI/UX)を提供できるか。 観点:①表示・操作速度は早い(現行の焼津データマップとの比較など)	5
			・利用者にとって使いやすい画面・体験(UI/UX)を提供できるか。 観点:②見やすく、使いやすいと感じる画面設計(UI)か	5
			・利用者にとって使いやすい画面・体験(UI/UX)を提供できるか。 観点:③利用者目線の画面・操作設計を行う体制(開発体制、社内風土など)があるか	5
	④ 5.業務要件/機能要件	5	・機能要件を網羅した提案か。(仕様書別紙2)	5
	⑤ 5.機能要件/非機能要件	5	・非機能要件(仕様書別紙3)のうち、提案書への記載を求めたものへの対応が記載されているか。	5
	⑥ 5.機能要件/運用・保守	5	・要件定義(運用・保守)を網羅した提案になっているか。 ・その他、有効な提案があるか。	5
	⑦ 6.プロジェクト管理	15	・本業務の遂行に必要なスキルを有する者を配置した実施体制が確保されているか。 ・地理情報システムの構築にあたり、有用な知見を有したものがいるか。 (測量士、空間情報総括監理技術者の資格保有者等)	5
			・会議体の運営及び関連事業との連携を考慮した提案であるか。	5
			・焼津市スマートシティ推進協議会への参加、システムの利用拡大に向けた取組の体制がとられているか。	5
⑧ 7.研修	4	・研修、操作マニュアル作成を考慮した体制が確保されているか。	4	
⑨ 8.テスト	4	・品質確保を旨としたテストが計画されているか。	2	
		・発注者が確認できるテストが計画されているか	2	
⑩ 9.独自提案	8	・新たなサービス等、独自の提案があるか。 (テーマ図の作成、ベクトルタイトル方式のWEB地図で実現できる新たなサービスなど)	8	
3 価格	見積価格	10	価格点A+価格点B=価格点合計(最高10点) 【価格点A】 令和7年3月までの費用 ※予算45,705,000円 超過は失格とする。 価格点A=7×(最安見積額)/(提案見積額) ※小数点以下四捨五入 【価格点B】 令和7年4月以降の費用(R7年度分:R7.4月~R8.3月の費用) 価格点B=3×(最安見積額)/(提案見積額) ※小数点以下四捨五入	10
合計			100	